

子どもの 見ているつもり? 聞いているつもり? 声を聴く

4

子どもにかける 言葉と手助け

愛知県碧南市
へきなんこども園園長
ユリア

ある日、2歳児が外遊びに出る場面で、2人の子どもがとてもスムーズにお部屋からテラスへ出て来て、自分で靴を履いていました。たまたまかも知れませんが、2人とも靴を左右逆に履いて園庭で遊び始めました。

いつもこんな姿になっているのでしょうか。2歳児ぐらいになると、さまざまな場面で自分がすることをわかっています。それで保育者も「やれるよね〜」と思って、見ているつもりで結構見れてない、もしくは見ていない、ということになっていました。本当に見ているかな〜。

またある時、同じ法人内の姉妹園で乳児保育の様子を覗いてみました。

2歳児クラスの担任が1人の子を伴ってトイレに行きました。時間がかかって、なかなか戻ってきませんでした。そこで、「どうしてかな〜？」

と思って、次に子どもがトイレに行った時に様子を見ていました。すると、担任は子どもにとっても丁寧に関わっていたのですが、すべてを子どもにさせようとして、「そこを持って…、次はここを持って……」と細かい指示をしていました。

丁寧に関わっているつもりが、いつの間にか指示して、子どもにさせる関わり方になっていました。子どもができないことをさせようとしているので、とても時間がかかっていたのですね。

先日の職員会で、1歳児の食事の話をしている時に、「Aちゃんは、いつも口いっぱい入れるんです」という発言が担任の1人からありました。「いつも口いっぱいに入れる……って、どうしてかな」と私が訊ねると、「いつもです」という答えが返って来ました。

こんな場合は、やり方を見直した方がいいですね。そこで私は、「ちょっと待って。口いっぱい入れすぎないように、保育者は介助用のスプーンを持っているんですよ。そうならないようにやり方を工夫して、Aちゃんの手助けをしてくださいね」と、伝えました。

「いつもやってるから大丈夫」はどうかかな〜。

子どもができないことをさせようとしていないかな〜。

子どもができることは自分でして、難しいことに大人が手助けする。そして手助けしながら、やり方を伝えていきます。何ができて、何ができないかは一人ひとり違うので、そこを大人がよく見てあげる必要があると思います。

さまざまな場面で子どもが行うことは一見、同じような行為に思えますが、一人ひとりの子どもたちの育ちにとっては、随分違った意味があります。この違いを考えて、言葉をかけることで、具体的に自発性（自分で考え決めて行動すること）が育つための手立てとなるようです。

そこでだいじなことは、「指示する」と「伝える」の違いをわかるということだと思います。

特に、乳児に排泄のお世話をする時、衣服の着脱をしている時など、今していることを細かく言語化して、言葉で表現しながら子どもと接するようになっています。

私の園に見学にいらっしゃった0・1歳児を担当されている保育者は、「手を洗う場で、子どもに、自分もちゃんと言葉をかけていたつもりだけど、いつも決まった同じ言葉をかけていました。もっと細かく『手の甲も洗えるかな』『指の間もきれいにね』などと、多様な表現で言葉をかけている保育者の姿を見て、私も明日から実践します！」と言われ、気づきがあったようでした。

また、乳児と関わる時には、今していることを言語化して表現することが、言葉の習得や行動の認識など、発達を促すのに有効なようです。さらに、行動を言語化することは、発達に課題があり、理解力より情報処理に困っている子の場合にも有効なようです。

子どもの発達を促すことを行っている自身の保育を言語化して表現するということは、乳児に関わる時にもこうした接し方（伝え方）をして、成長発達を支えます。

じつは、私は誕生日会ではいつも同じ話をします。「『ありがとう』と言ってね。感謝の気持ちを持ってね」。このことを、子どもたちに繰り返し伝えています。

先月の誕生日会で、少し話をしてから、「園長先生がいつも誕生日会にする話で、まだ今日していない話は何かな？」と訊ねたら、全部の幼児のクラスで、子どもから「ありがとうの話」と返ってきました。「ちょっと嬉しい!!」

なぜ、誕生日会でいつも同じ話をしているかというと、「私が保育園児で通っていた時の園長先生の話って何も覚えてないな」と気づいて、結局、「ああしましょう。こうしましょう」といった話は、

子どもには何も残らないのかと思い、「それなら、耳にたこができるほど同じ話を繰り返し伝え、支えになる言葉として心に残ってくれるといいな」と思って続けているのです。

でも、私自身の言葉の乏しさ、表現の幅のなさを感じています。特に、子どもを褒める時の言葉の表現が「すごいじゃん」「よかったね」「素晴らしい!!」など、とても単純な表現ばかりになってしまって……。もっと豊かな表現ができたらいいな〜と思っています。

一方で、言葉は単純でも気持ちが伝わればまあいいか?!とも思っています。



①1歳児：外遊びに行く様子
②2歳児：排泄の様子
③2歳児：手を洗っている様子
*ほかの子どもたちはそれぞれに遊んでいます。

*この連載は、和田秀一先生とユリア先生に隔月交替でご執筆いただきます。